



YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY
横浜市民ギャラリー

アート ヨコハマ

ART YOKOHAMA

vol. **47**

横浜市民ギャラリー情報誌
2012. 02 | 03 | 04 | 05

平成23年度リニューアルした「絵画教室」
卒業生作品展を開催(2/29 ~ 3/6)

コレクション展2012
THE フェイスー収蔵作品に見る「顔」の表現ー
(3/1 ~ 3/18)

<http://www.yaf.or.jp/ycag/>

横浜市民ギャラリーコレクション展 2012 THE フェイス — 収蔵作品に見る「顔」の表現 —

横浜市民ギャラリーには、1964年の開館以来開催した展覧会の出品作品をはじめ、横浜・神奈川にゆかりのある作家の作品を中心に日本画、油彩画、版画、写真、素描、彫刻などおよそ1,300点の作品が収蔵されています。

2012年のコレクション展のテーマは「顔」です。人の顔や姿はその人を特定し、人物について知ろうとする上でとても重要な手がかりであり、いつの時代も「顔」は人々の関心をひきつけてきました。時代の大きな転換期を経験した昭和の一側面ならびに当時の横浜の様子を、おもに戦後から90年代初頭までに制作された絵画、写真、版画、素描、彫刻作品など多彩な収蔵作品に見出される人の顔の描写を通じて展観するものです。

会期中には収蔵作家・林敬二氏(2008年第57回横浜文化賞受賞)によるスペシャル・トークや担当学芸員によるギャラリー・トークなどの関連イベントを開催するほか、ボランティアによる鑑賞サポート活動も予定しています。

展覧会期 2012年3月1日(木)～18日(日) 会期中無休

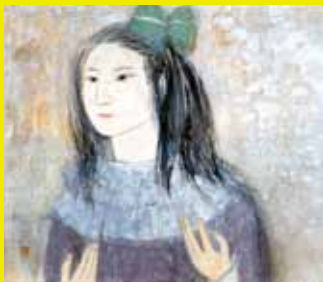
時間 10:00～18:00(入場は17:45まで)

会場 横浜市民ギャラリー1、2階展示室 入場無料

主催：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

協賛：ホテルルートイン横浜馬車道

後援：横浜市文化観光局、神奈川新聞社、tvk、RFラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会



1 林敬二「緑風根岸」1988年 油彩・キャンバス 72.5×60.5cm
2 岡本彌壽子「祈り」1988年 紙本着彩 45.5×53.0cm
3 奥村泰宏「帰還兵とGI」1950年 セラチン・シルバー・プリント 34.2×34.2cm

関連イベント スペシャル・トーク(要事前予約、定員40名) 3月10日(土) 14:00～15:00
ゲスト：林敬二(画家)
横浜市民ギャラリーの収蔵作家である林敬二氏をゲストに迎え、作品制作の背景について語っていただきます。

学芸員によるギャラリー・トーク(予約不要) 3月3日(土) 14:00～14:30
担当学芸員が展覧会の見どころについてお話しします。お気軽にご参加ください。

収蔵作品 紹介

横浜市民ギャラリーのコレクションから、
毎号1点をご紹介します

菅木志雄「Spreading Wood'86」 1986年/木、自然石/440.0×240.0×42.5cm

すがきしお
菅木志雄は1944年、岩手県盛岡市生まれ。1968年に多摩美術大学絵画科を卒業しました。1960年代末から70年代初頭に現れた「もの派」を代表する作家として内外で高い評価を得てきました。木、石、建築部材などを未加工のまま作品素材として用い、作品設置に際してはそれらの「もの」を取り囲む空間との関わりや、「ものが空間におかれるとはそもそもどういことなのか」という、作品とそれが設置される場・空間との関連性を重視した作品を制作しています。こうした作品のほか、映像作品の制作や作家活動のもう一つの柱ともいえる著述活動も行っています。横浜市民ギャラリーでは、1970年から1986年までの間に、先進的な若手作家を紹介する「今日の作家展」において、欠くことのできない作家の一人として度々取り上げてきました。



平成24年度事業のご案内

平成24年度(平成24年4月～平成25年3月)も、
市民ギャラリーならではの事業が満載です。ご参加・ご来場をお待ちしています。

大人から子どもまで
楽しめます!



平成24年度絵画教室

平成24年4月～25年2月開講/
3月卒業生作品展

この春から、油彩・水彩・
パステルなど好きな画
材で自由に楽しく絵を
描いてみませんか?経験
豊かな先生が一つ一つ
丁寧に教えてくれます。
初めて絵筆を持つとい
う方も、大歓迎です。レ
ギュラー講座終了後
には当ギャラリーにて卒
業生作品展を開催し、そ
の成果を発表します。



受講生募集中(12月～平成24年6月)、
詳細はパンフレットをご覧ください。

ニューアート展 NEXT2012 動く絵、描かれる時間 Phantasmagoria (仮称)

かなざわ ま ゆ こ

金澤麻由子・SHIMURABROS.
9月28日(金)～10月17日(水) [予定]

映像作品を中心に国内外で活躍する気鋭の若
手作家2組を紹介。現代の映像作品という難
解に思われがちですが、素材感や色彩につい
ての丹念な作業の積み重ねに注目し、未来とノ
スタルジーを融合させた作品により、映像の幻
想的な魅力に迫ります。



1. 金澤麻由子「ぼくぼく」
2005年、映像インスタレーション、270×320cm
2. SHIMURABROS.
「X-Ray Train—Lumière Bros to SHIMURABROS.」
2008年、映像インスタレーション ※いずれも参考作品

横浜市こどもの美術展

7月30日(土)～8月4日(木)

1965年以来開催している子どものための展覧
会。横浜市内に在住在学の小学生以下の子ども
であれば誰でも出品でき、無審査でギャラリーに展示
します。自由な発想と豊かな表現に溢れたこども
の絵を大募集します。 作品募集期間：7月中旬



ハマキッズ・コロロ

缶バッジのコロロを
参加の子ども達全員に
参加賞として進呈!



6月～1月、全7回

子どもたちの創造力を育み、集中力を養うことを
目的として実施している造形ワークショップ。「横
浜市こどもの美術展」開催時には拡大特別版で、
誰でも自由に参加できます。

いずれも、各事業ごとに、チラシおよび下記の市民ギャラリー HP で詳しい情報をご確認ください。
<http://www.yaf.or.jp/ycag/> お問合せ：横浜市民ギャラリー TEL.045-224-7920

横浜市内 アート・カルチャー情報

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が運営する文化施設の情報をえりすぐってお届けします。

PICK UP



横浜美術館

松井冬子展—世界中の子と友達になれる—
開催中～3月18日(日)

日本絵画の古典技法の探求を通じ、恐怖、狂気、ナルシズムなどをテーマ
に制作してきた気鋭の画家・松井冬子(1974年生まれ)の公立美術館初
の個展。代表的な作品や下絵、新作約100点によって、画業の全貌を紹介。

開館時間：10:00～18:00(入場は17:30まで) 休館日：木曜日
入館料：一般1,100円 大学・高校生700円 中学生400円 小学生以下無料

お問合せ 〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1
TEL.045-221-0300(代)
ホームページ <http://www.yaf.or.jp/yma/>

次回展覧会
「マックス・エルンスト—フィギュア×スケープ」4月7日(土)～6月24日(日)



《世界中の子と友達になれる》
2002年 絹本着色、裏箔、紙
181.8×227.8cm 作家蔵(横浜美術館寄託)

展覧会イベント報告

ニューアート展NEXT2011 Sparkling Days



新しい美術をわかりやすく紹介する展覧会シリーズのリニューアル第一弾。横浜市の文化政策や活動拠点との関連など、横浜と関わりのある気鋭の若手現代作家―曾谷朝絵、荒神明香、ミヤケマイの女性3名によるグループ展を開催しました。

活躍の幅をひろげつつある3名のさらなる飛躍の場となるよう、大規模な新作インスタレーションをはじめ、新作31点を含む全96点を約1,800㎡におよぶ3階全展示室を使って展示しました。会期中、広い会場内は3作家の圧倒的なパワーとはじけるような美しい色彩、そして観客の皆さんの驚きの声で溢れていました。現代美術ファンだけでなく、多くの方にアートに触れる楽しさや喜びを実感していただける場を提供できたのではないのでしょうか。荒神氏は展覧会の始まる約2週間前から市民ボランティアとの協働による滞在制作も実施しました。



3階展示室受付の様子

クロストークの様子
(左から：逢坂、曾谷、荒神、ミヤケの4氏)アーティストトークの様子
出品作について語る荒神氏(中央右)

事業報告

主催：横浜市民ギャラリー
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
後援：横浜市文化観光局、神奈川新聞社、tvk、RFラジオ
日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会
助成：野村財団

協賛：株式会社資生堂、アイ・ビー株式会社、エイブリ・デニソン・ジャパン株式会社、株式会社岩城、株式会社NTTドコモ、株式会社カネカ、株式会社河合商会、株式会社SHINDO、株式会社中川ケミカル、有限会社セリアート、リキテックスパニーコルアート株式会社、アサヒビール株式会社、アサヒ飲料株式会社、画廊業、ニューオータニ横浜

協力：横浜美術館、おぶせミュージアム・中島千波館、株式会社バリューコネクト、斉藤力アトリエ、田口寛、萩原克奈美、らいおん建築事務所、MINERVA、MDG、Modern Design Group

会期：2011年9月30日(金)～10月19日(水) [20日間(休館日なし)]
会場：3階・中3階展示室 入場無料
出品作家：曾谷朝絵、荒神明香、ミヤケマイ
出品総数：96点(うち新作31点)
入場者数：3,454名
広報印刷物：チラシ(A3二折り)40,000部、ポスター(B3)1,000部
参加ボランティア：のべ113名

関連イベント

①スペシャルトーク
村田真[美術ジャーナリスト、横浜BankARTスクール校長]
10月1日(土) 14:30～16:00 参加者30名
②クロストーク
逢坂恵理子[横浜美術館長、ヨコハマトリエンナーレ2011総合ディレクター]×出品作家3名 10月14日(金) 16:00～18:00 参加者55名
③アーティストトーク(出品作家によるギャラリートーク)
10月15日(土) 14:00～15:30 参加者70名
④学芸員によるギャラリートーク
10月8日(土) 14:30～15:00 参加者16名

展示室と照明

展示と切っても切れない関係にある照明にまつわる話を

「横浜市こどもの美術展」マスコットとして親しまれ続けている「ハマキッズ・コロロ」が市民ギャラリースタッフ＝「ライトマン」の皆さんに聞いてみました。



照明作業ってどんなことをするのですか？



市民ギャラリーでは、利用団体の作品展示作業終了後に照明作業を開始します。我々ライトマンが作品と対面するのは展示作業当日になってからです。出品作品は、平面(絵画・版画・写真・パッチワーク等)、立体(彫刻・陶芸等)、能面や仏像、伝統工芸、そして、空間全体を利用したインスタレーションと広範囲にわたります。これらの作品の配置が完了した展示室から照明を施していきます。展示室固有の条件(天井高、ライティングレールの位置、防災上の制限)、彫刻台やガラスケース等の備品の状態、作品の壁面への掛け具合や団体および制作者の意向を加味して、器具の種類・配置を決めます。最後に会場全体の明るさを調整して、団体の展示責任者に確認をしてもらい、作業を終了します。

照明の効果は非常に大きく、作品をより良くみてもらうための最後の化粧ともいえます。出品者が自身の作品に感動して見入っている姿を見ると、私たちライトマンもお役に立てたかな?と実感することができます。



美術館における美術作品への照明と、市民の作品に照明をあてる際の違いはあるのですか？



市民ギャラリーでは、美術館の照明のように作品個々への照明ではなく、陳列ブロックごとの照明を行います。その理由に、扱う作品の量・種類の多さと、作品の飾付終了から開場までの短時間で照明作業を終了しなければならないことが挙げられます。

照明作業の様子(手前：ライトマン)



バトン*1を下ろして照明器具を取り付けているところ

ハマキッズ・アートクラブ

ほうこく

子ども向け造形プログラム『ハマキッズ・アートクラブ』

アーティスト・多文化共生プログラム

世界の“ブーちゃん”を描いてみよう

はじめに小野先生から「ブーちゃん」について楽しい講義がありました。世界の豚と人間とのかわりや、その歴史を知って描いたブーちゃんはとても親しみのある作品になりました。イーゼルを立ててモチーフを見ながら描くコツを先生から教えてもらい、大きな紙全体に描けました。

日時：2011年9月10日(土) 13:30～16:00
対象：小学生 参加者：21名 参加費：1,500円 講師：小野養豚ん(美術家)



制作風景

アーティスト・チャレンジプログラム

粘土で“にんげん”をつくろう

今回のポイントは2つ。1つ目は、ワイヤーで動きのあるポーズを表現すること。2つ目は、粘土でその動きを人間の筋肉らしく造形すること。参加者はワイヤーで様々な動きを試してみ、お気に入りのポーズを見つけました。次に、360度立体作品として完成させるために丁寧に粘土をつけました。

日時：2011年10月30日(日) 13:30～16:00
対象：小学生 参加者：29名 参加費：1,500円 講師：関孝行(彫刻家)



大石瑞希さん作(10歳)

チャレンジプログラム

クリスマスのあったかクッション

自分で好きな模様の生地(フリース)を選んで、「さあ、どんなクッションを作ろうか」。クリスマスツリーやサンタクロース、雪やハートなど色々組み合わせました。それをフェルトで切っただけに針と糸を使って縫い付けました。最後に綿を入れてクッションの完成。恐る恐る初めて針を使う参加者もすぐに夢中になって、素敵な「あったかクッション」ができました。

日時：2011年11月27日(日) 13:30～17:00
対象：小学生(3年生～6年生) 参加者：31名 参加費：1,500円 講師：藤田恵(横浜市民ギャラリー)



山田空命さん作(9歳)

見て見て!すてきなクッションができたよ!

素材を知り、素材に合った造形に取り組む講座です。素材となるクッションの布(フェルト)、糸、毛糸、いずれも色とりどり。クッションの表面にはフェルトのアププリケ。クリスマスにちなんでサンタさん、クリスマスツリー、雪ダルマ、中には小惑星探査機「はやぶさ」までありました。少々凝りすぎたようで時間が足りなくなりましたが、指導の先生に助けられ3時間余り、楽しいクッションが次々と出来上がりました。



制作風景(撮影：鈴木通弘)

レポーター 鈴木通弘

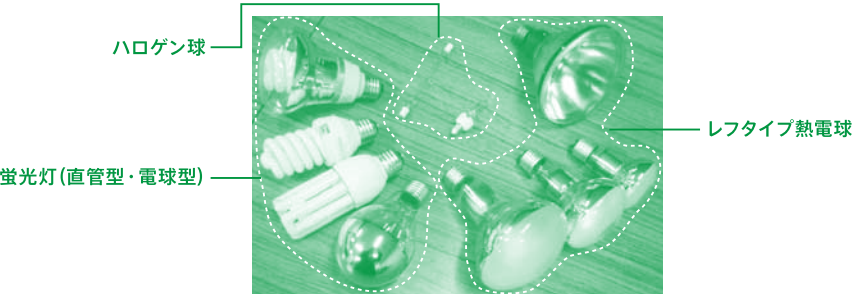


照明作業をするときはどのような工夫をしていますか？



どのような照明器具を使っているのですか？

それでは、電球の性質を解き明かしながら説明しましょう。



ハロゲン球

ハロゲン効果*²を利用したフィラメント電球。耐久性に優れ発する光のスペクトル*³幅が広く演色性も良好(立体感・遠近感・鮮やかさ)、器具と合わせ広範囲の照明に有効です。但し、電球が高温になり、器具も高温になるので取扱いに注意が必要です。一般家庭では通常使われませんが、ハロゲン球は市民ギャラリーの最もパワフルな主要管球で4種類を使用しています。

蛍光灯(直管型・電球型)

放電を利用した電球。発生する紫外線の影響が取り沙汰され、美術・芸術関係では敬遠されてきました。しかし、紫外線除去技術の発達や昨今の節電志向を背景に急速に需要が見直されています。市民ギャラリーでも電球型のもの8種類を主要管球として利用しています。長所・短所さまざまありますが、光源としての全般的な能力は、ハロゲンに一步譲るようです。現在、市民ギャラリーで使用している電球の色は、昼白色・昼光色・電球色の3種類を作品や対象物によって使い分けています。

レフタイプ熱電球

オーソドックスな熱電球。構造は電球内にアルミを蒸着*⁴させた反射幕を備え、点灯効率を高めています。約2年前までは市民ギャラリーの主力管球でしたが、地球温暖化対策の一環として、2008年に政府が発表したメーカーの白熱電球製造販売を中止する方針を受け、電球型蛍光灯への切り替えを模索しています。価格が安く、演色性良好といった長所があります。



最近話題のLED電球は使っていないのですか？

市民ギャラリーでは使用していません。LED電球は一般的には、信号機・電灯・表示板といった視認を目的とした用途では相当に容量の大きなものも出ています。また省電力・耐久性という点は非常に優れていますが、美術・博物館用光源としてのニーズに応ずるにはスペクトル幅・演色性・出力といった能力要素にまだまだ問題もあり、更なる改良が必要です。作品照明用の光源としては、大容量の白色発光ダイオードの登場を待つしかないと思われます。



ありがとうございました。利用者の要望を聞きながら色々工夫しているんですね。
これからも最後のお化粧直しよろしくね。



ライトマンの用語解説

- *1 バトン 照明器具を吊り下げ昇降させる装置。
- *2 ハロゲン効果 電球の中に入っているハロゲンガスと、タングステンでできているフィラメントが結合してできたものが、再度分離してタングステンがフィラメントに戻る一連の化学変化のこと。この反応によりタングステンの蒸発によるフィラメントの折損が抑制されるため、一般の白熱電球に比べ50%程度明るい電球、あるいは約10倍といわれる長寿命の電球が実現できるようになった。
- *3 スペクトル 人間の目に見える光のことを可視光線というが、この可視光線をその波長によって分離してみると、波長の短い側から順に、紫、青、緑、黄、橙、赤、深赤で、俗に七色といわれる。波長ごとに色が順に移り変わることで、あるいはその色の並ぶ様のこと。
- *4 蒸着 金属や酸化物などを蒸発させて、素材の表面に付着させること。

GALLERY SCHEDULE 2012年2月～5月

横浜市民ギャラリー展覧会情報

開館時間：10:00～18:00(会期初日は午後からの場合があります)
休館日：施設点検日 2月12日(日)、25日(土)、26日(日)
終日展示・作業日 2月27日(月)、28日(火)、5月1日(火) ※事務室は開いています。



1月31日(火)～2月5日(日)

- 1F 横浜市シルバー人材センター第28回創作物展
油絵・水彩画・日本画・水墨画・写真・書・彫刻・工芸
- 2F 第45回金曜会展 油彩・水彩画
- 3F AB 光荘会第40回青門書道展 書
- 3F C 第35回鐵門社学生書道展 書

2月6日(月)～11日(土・祝)

- 2F 横浜ズーミング倶楽部写真展 写真
- 3F AI 第10回墨展 墨画
- 3F AII OKIKO 003～中間地展～ 油絵・写真

2月7日(火)～11日(土・祝)

- 1F 横浜市立中学校美術科教員展第49回サクレ展
絵画・彫刻・版画・デザイン・工芸・立体
- 3F BC 第51回神奈川県高等学校定時制通信制生徒作品展
油絵・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・書・彫刻
立体・陶芸・工芸・手芸作品

2月13日(月)～18日(土)

- 1F 第10回横浜市港友会会員作品展 油絵・水彩画・日本画・水墨画・写真・書・工芸・絵手紙
- 2F 第5回群鴉会展 油絵・水彩画・日本画・書
- 3F AB 第32回公募静雅書展 書
- 3F C 30周年記念カルデラ展 油絵

2月19日(日)～24日(金)

- 1F 2011年度横浜国立大学教育人間科学部美術科卒業制作展 絵画・彫刻・デザイン・工芸・論文
- 2F 横浜国立大学教育人間科学部書道ゼミ卒業制作展 書
- 3F 第51回神奈川旺玄展 油絵・水彩画・日本画・版画

2月29日(水)～3月6日(火)

- 3F AB 横浜市民ギャラリー絵画教室卒業生作品展 絵画
- 3F C 日本風景写真協会神奈川支部第8回作品展「彩時記」写真

3月1日(木)～18日(日)

- 1F 2F 横浜市民ギャラリーコレクション展2012 写真・絵画など

3月7日(水)～13日(火)

- 3F A 第34回日月書道展(公募) 書
- 3F B デザインの書と水墨画展-日中文化交流展- 書・水墨
- 3F C 夢の配達人展2012 写真

3月14日(水)～19日(月)

- 3F A 第22回虹の会展 油絵・水彩画・日本画
- 3F B 第19回みなとヨコハマ水彩展 水彩画
- 3F C 神奈川独立 燎の会展/新人展一同時開催一 油彩

3月20日(火・祝)～25日(日)

- 1F 第4回点の解展 油彩・水彩・版画・写真・彫刻・立体
インスタレーション
- 2F 我楽多倶楽部展 絵画・写真・書・彫刻他
- 3F A 日本水彩画会湘南支部第75回湘南水彩展 水彩画
- 3F B ワークショップOM会員版画展 版画
- 3F C 第9回神奈川・県民写真サークル合同展 写真

3月26日(月)～31日(土)

- 1F 第30回神奈川県写真作家協会展
テーマ「森羅万象カメラアイ」写真
- 2F グループ襷展 油絵
- 3F A CAF.N横浜展 油絵・版画・彫刻
- 3F B 日本丸洋画同好会2011グループ作品展
油絵・水彩画・パステル
- 3F C 第44回主体美術神奈川作家展 油彩

4月1日(日)～6日(金)

- 1F 2F 第43回一線美術神奈川支部展 油絵・水彩画
- 3F 神奈川二科展 油絵・写真

4月7日(土)～12日(木)

- 1F 第31回白亜会神奈川支部展 油絵・水彩画
- 2F 第7回グループZ展 油彩・アクリル・他平面
- 3F AI 第42回横浜無名会写真展 写真
- 3F AII 第5回陶研展・神奈川の土と石をやきものに
(大地を焼くパート3) 陶芸
- 3F B 鎌倉・横浜スケッチ会風景絵画展
水彩画
- 3F C 公募第36回國藝書道院展 書

4月13日(金)～18日(水)

- 1F 公募第2回かながわ水彩ビエンナーレ 水彩画
- 2F 第11回サンデーパレット展 油絵・水彩画
- 3F AB 第43回公募文化書道神奈川県連合会書道展 書
- 3F C 第7回現代ルネッサンス美術展
油絵・水彩画・その他(アクリル・パステル・デッサン)

4月19日(木)～24日(火)

- 1F 2F 第46回精霊文社書展 書

4月20日(金)～24日(火)

- 3F 第52回書燈社展 書

4月25日(水)～30日(月・祝)

- 1F 平成24年萌墨会水墨画展 水墨画
- 2F 第3回「フチアート」こころ絵手紙展 絵手紙
- 3F AI 辻が華和紙ちぎり絵展 和紙ちぎり絵
- 3F AII 第7回アトリエ・ボルト展 油絵
- 3F B 平成24年度神奈川県きりえ展 きりえ
- 3F C 第34回浜美術連盟絵画展 油絵・水彩画・アクリル

5月2日(水)～6日(日)

- 1F 2F 3F 第78回県展 油絵・水彩画・日本画・水墨画・版画・写真・陶芸・工芸・ガラスアート

5月7日(月)～13日(日)

- 1F ジュン・パッチワークサークル合同展示会
パッチワーク
- 2F 第37回ハマグルッペ写真展 写真
- 3F A 第48回具象美術展 平面・立体・具象作品
- 3F B 第46回白のつどい展 油彩
- 3F C 神奈川報道写真連盟第35回公募展 写真

5月14日(月)～20日(日)

- 1F 2F 神奈川新制作展 油絵
- 3F AI ABE水彩画教室 水彩
- 3F AII 第12回遊友展 油彩・水彩
- 3F BC 公募第29回みず糸展 水彩画・パステル

5月21日(月)～27日(日)

- 1F 淡彩画を描く仲間と児童の絵画展 淡彩画
- 2F 第6回旭芸術写真会展 写真
- 3F AI 第7回絵の樹会作品展 油絵・水彩画・パステル
- 3F AII 第24回アトリエ15展 油絵
- 3F BC 彩象展 油絵・水彩画・日本画・陶芸

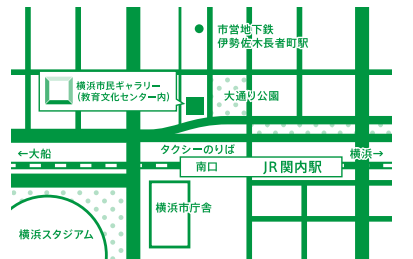
5月28日(月)～6月3日(日)

- 1F 2F 現代かながわ美術展 油絵・水彩画・彫刻・陶芸・工芸
- 3F AB 第50回日・朝友好展
絵画・写真・書・彫刻・詩歌・工芸
- 3F C 日本医家総合展
油絵・水彩画・日本画・版画・その他平面

横浜市民ギャラリー (公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団)

開館時間：10:00-18:00
休館日：施設休館日・終日展示作業日(いずれも上段に記載)
〒231-0031 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育文化センター内
TEL:045-224-7920 FAX:045-224-7928
Eメール:ycag@yaf.or.jp http://www.yaf.or.jp/ycag/

編集発行：横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市民芸術文化振興財団)
発行日：2012年2月1日
©Yokohama Civic Art Gallery, All rights reserved



市民ギャラリーから**30秒** 一番近い画材店/額縁店



絵具屋三吉 (エノグヤサンキチ)



油彩・水彩・アクリル・パステル・日本画など、様々な画材を取り扱っております。

額装装は家庭向けから展覧会用、そして美術館級の保存額装まで承ります。裏打、軸装も随時受付。

〒231-0032神奈川県横浜市中区不老町1-4-12 TEL:045-641-9318/FAX:045-664-3786
http://www.sankichi.com ネット通販も承ります。 営業時間:10:00~19:00 日曜定休

あそんで、感じて、知って、つなげよう。自分と地球！

J R根岸線本郷台駅すぐ Tel:045-896-2121 http://earthplaza.jp/



神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーす ぷらざ

子どもと一緒に遊んだり、ゆっくりドキュメンタリーを観たり、本を借りたり、イベントやセミナーに参加したり、情報収集したり、活動したり！
あーすぷらざは、地球規模で考え身近なことから行動する力をはぐくみます。

ぷち展のススメ

応援します！小個展・グループ展・作品展・記念展
ぷちなら「支援価格」「交通便利」「広さお手ごろ」



「ぷち展」支援価格 1週間(6日間) ¥42,000 → **29,400円** (3割引)

夢の実現お手伝いします

ぷち
ギャラリー

〒231-0033 横浜市中区長者町9-173

TEL&FAX 045-251-5487

http://petit.on.omisenomikata.jp/

京急「日ノ出町」駅徒歩3分/JR「桜木町」「関内」駅徒歩10分
横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町」駅徒歩7分

